

検索支援システムに関する研究

01H078 チン リョウウン

1 はじめに

インターネットを通じて、我々が利用できる情報量が飛躍的に増大している。しかし、その増え続ける情報の中から自分の目的にあった情報を選び出すのは困難である。Web から必要な情報を効率よく取り出すために、今は多くの人が検索エンジンを利用している。

本システムはグループにおける検索支援を目的として、グループメンバが検索を行う際に、以下の問題を対象として、解決目的で構築した。

- 求める情報に関する適切キーワード或いはヒントがほしい
- 過去に検索した情報をもう一度見たい時、再び最初から検索し直す
- 同じキーワードに対して、グループメンバがどんなページを見たか

本稿で指すグループとは、同じ研究室にあるメンバ同士である。このようなグループメンバは同じ目的の情報を検索することがあると考えられ、そのため、グループ内の検索キーワードの共有が有効と思われる。

2 システムの詳細

本システムでは、グループメンバが HTTP プロキシサーバを利用して、外部ネットワークに接続することを前提とする。

プロキシサーバのログからグループメンバが使った検索キーワードを収集する。収集された検索キーワードを共有リストとして整理し、本システムを利用するグループメンバが検索を行う際にヒントとして利用者に与える。

また HTTP プロキシサーバはグループメンバがアクセスしたページをローカルに蓄えておくキャッシュする機能がある。そのため、キャッシュデータを検索すれば、グループのメンバが過去に検索した結果を再確認することが容易になる。他のメンバがアクセスしたり、検索し

て探してきた情報にも触れる事ができる。

また本システムでは、キャッシュデータに情報が少ない場合、それを補う形で外部の検索サービス (Google API) を利用する。

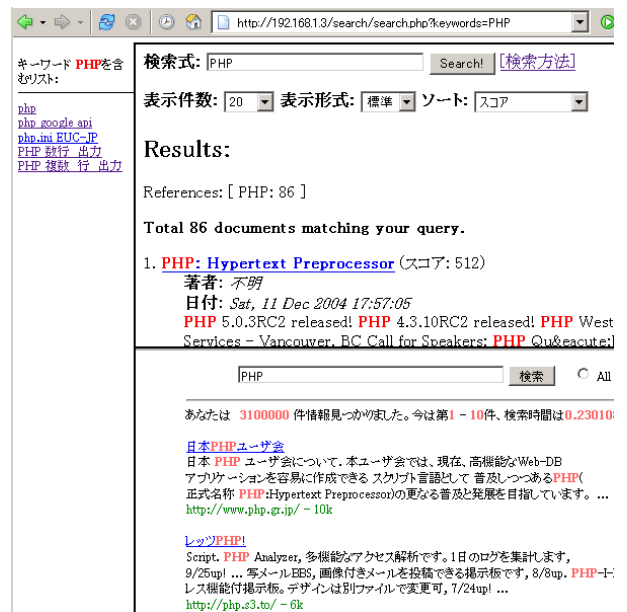


図 1: 検索支援システムによる検索結果画面

検索結果は図 1 に示す。左部分は検索キーワード共有リストを表示する画面、右上部分はプロキシサーバのキャッシュデータによる検索結果を表示する画面、右下部分は Google API による検索結果の表示画面。

3 まとめ

本システムは予定している機能を実装することはできた。しかし、収集されたキーワードリストに入力ミスを含むキーワードがまだ存在し、プロキシサーバのキャッシュデータによる検索結果が文字化けするなどの問題もある。このような問題の解決は今後の課題として挙げられる。